



創造

かけがえのない多くの命が失われ、未曾有の被害をもたらした熊本豪雨災害。最愛のご家族やご親族を失われた方々のお気持ち pensando と哀惜の念に堪えません。改めて衷心より哀悼の意を捧げます。また、被災されたすべての皆様に心からお見舞いを申し上げます。

前夜からの豪雨がやみ、ようやく学校にたどりつくくと、辺り一面が茶色の泥土で覆われていました。校舎の中にも浸水し、土砂が入り無惨な姿になっていました。茫然自失。しばらくの間、立ちすくみ動けませんでした。

それから、児童の安否確認とともに職員による懸命な復旧作業が始まりました。

芦北管内の教職員の方々をはじめ、葦北郡・水俣市を中心としたPTA連合会の皆様や本校の関係者そして各種団体の皆様にも作業に加わっていただきました。日を追うごとに、児童の状態が確認でき、施設面でも原状回復の兆しが垣間見え、私たちの心の支えになりました。これも、子どもたちの自慢であった美しい佐敷小を早く取り戻そうと、延べ六百人を超えるボランティアの方が、必死になって汗を流してくださったお陰です。この他、県内外からタオル等の支援物資をたくさん提供していただきました。皆様の物心両面に渡る温かいご支援、ご協力に、職員一同深謝申し上げます。ありがとうございます。

マンパワーに感謝 !!



泥水の排出



床面や机等の洗浄

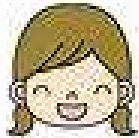
自助から共助へ・・・支援の輪が広がりました



浸水物の搬出



体育館周辺の流木の撤去



はげましのメッセージ



芦北町のみなさんは大変な中がんばってすごいと思いました。タオルぐらいしかありませんが、少しでもはげましになればと思います。一部ですが、袋にやさしいメッセージが書いてあります。未使用なので安心して使ってください。熊本市から応援しています。とても大変な時期ですが、元気を出してがんばりましょう。“がんばれ 佐敷小！”

〔熊本市立杉上小学校6年児童〕

私は、2年前の2018年7月7日にあった西日本豪雨で被災しました。とても大変でした。みなさんのつらい気持ちは、とてもよくわかります。家の片付けなどには長い時間が必要です。でも、私たちも乗り越えられたのだから、きっとみなさんも日にちがたてば乗り越えられます。テレビごしにでも、みなさんに「がんばってね」と言えるよう私がんばりたいと思います。今とても暑い時期ですが、佐敷小のみなさんもがんばってください。〔岡山県倉敷市立菌小学校6年児童〕

太陽に向かって咲くひまわりのように・・・

17日（金）久しぶりに青空を見ることができました。校舎周辺を歩いていると、本校のシンボルの一つである『三岳を越えて』の像とその横に凜と咲くひまわりが目に入りました。本校の教育理念を示すこの像には、「三岳（赤松峠・佐敷峠・津奈木峠）の頂に知・徳・体の育成目標を置き、この目標達成を目指して挑戦する心を育成する。」という三岳精神が込められています。

明日からの授業再開に当たっては、熊本県教育委員会、芦北町教育委員会による検討の結果、町内の学校施設を借用することに決定しました。受け入れを快く了承し、手厚い準備をくださった田浦小学校・田浦中学校の児童生徒及びPTAの皆様、教職員の方々には心から厚くお礼申し上げます。

今日、子どもたちはさまざまな思いで登校してきたことと思います。これから、不安やストレス等で心が折れそうになるときがあるかもしれません。全職員で一人一人をしっかりと見つめ、心のケアを丁寧に行いながら、三岳精神のごとく「挑戦する心」を子どもたちがもてるよう、ゆっくり一歩ずつ前進していこうと思っています。“千里の道も一歩から”です。長く暗いトンネルに入っていた佐敷268号。車両名を「佐敷266号」に変更して（2名転出のため）、今日から再々出発します。校舎は二つに分かれますが、佐敷小全員の心を一つに合わせて頑張りましょう!!

